

家族で子育て

33 Q&A



Q

しっかり者の小5の姉と甘えん坊の小2の弟は、顔を合わせるだけけんかすることが多く、叱るのに疲れてしまいます。

姉がいい子の役をしていますが、手が出るようなけんか以外は放っておき、上の子が甘えられる時間をとってみて。

A

行司 役をしない

三つ違いでも、兄弟となると年の差はないに等しいものです。子供のけんかを親が仲裁すると、「行司」になってしまいます。

相撲の行司が「のこった、のこった」と取り組みを促すように、子供は正当性を示そうとして、かえってけんかが激しくなるかもしれません。

あるいは、そのときはけんかが収まっても、親はどちらかの味方をしたように思われ、片方に不満が残ります。これが思春期に持ち越されては困ります。

危ない場合は親が止めなければ

ばなりません。そうでなければかかわらないのが原則です。

けんかの後、何か言ってきたら、それぞれの言い分を聞いてあげればいいでしょう。

上の子を甘えさせて

顔を合わせるとけんかになるのであれば、物理的に引き離す手もあります。それぞれ曜日をずらして習い事をすれば、その間、親は家にいる子供と1対1の親密な時間を持つことができます。

しっかり者のお姉ちゃんだと忙しい親の役割を代わりに引き受け、無理して「いい子」を演

じていることがあります。親の気持ちを先取りして弟の面倒をみて、それが評価されると、さうらにがんばってしまうのです。

娘さんががんばり過ぎていようなら、「わかってあげられなくて、ごめんね」と言って、娘さんが甘えられる環境を作ってあげるといいでしょう。2人でシヨッピングに出かけるなどして特別感を出し、話もよく聞いてあげるので。

どんなに下の子と年の差があっても、上の子にも親を独占したい心があります。それぞれ心が満たされれば、ひどいけんかはなくなるでしょう。